

仙北市新規採用職員(6名)の初めて議会を傍聴しての感想

6月定例会では市役所研修の一環として、新規採用職員の方々が議会を傍聴しました。
傍聴者の中から、6名の職員の感想をご紹介します。

市民福祉部 子育て推進課 主事 鈴木 さら

市議会定例会を傍聴する機会はなかったので、良い経験になりました。
市議会定例会は画面越しでしか見たことがなかったので、実際に議場へ行って傍聴するのと、画面越しでみるのとは、雰囲気を感じ方が違いました。議員さんには男性がほとんどですが、女性の議員さんもいて、同じ女性目線の質問や要望、また女性だからこそ話しやすいこともあるので、こういった場でも女性の存在意義は大きいと思いました。

私たち以外にも市民の方にも傍聴しに来ていましたが、市民の方も思っているような質問もあると思うので、HPやLINE、広報を活用する人を増やし、見に来る方も増えたらなと思いました。

総務部 西木市民センター 主事 佐々木 ^{ゆう}優

今回議会傍聴研修を受け、市民から議員、議員から市へ、こうやって市が良くなっていくのだと初めて議場で議会を目の前で見て、大変良い経験になりました。市職員と議員のどちらも仙北市の未来を考えた上での、質問・提案・答弁で、白熱した場面もありましたが、すべて仙北市のためだと思うで聞いていて自分も改めて頑張ろうと身が引き締まりました。

また、その場で出た質問や要望に担当部長が素早くはっきりと答弁しているのを見て、市民目線で考えてみると、しっかり要望を検討してくれそうだなと感じました。

今回の議会を傍聴し、改めて改善点が仙北市にはあると思ったので、これから市の職員として少しでも仙北市の発展に貢献したいと思います。

総務部 税務課 主事 池田 ^{ふうか}楓華

今回の研修で初めて議会を傍聴した。議員の方々が事前に調査などを行い、発言通告要旨に基づいた質問をすることで、議会がスムーズに進行されていた。また、発言通告要旨を事前に提出することで、担当課においては詳細を調査し、議員の方々が納得できる回答をすることにつながっていた。

これまで議会について知らないことが多くあったが、議員の方々が市民の声を聞き取り、市長に直接伝えることができるため、市民が暮らしやすい社会になるような改善を迅速に行うことにつながると感じた。議会の録画があるので、今回傍聴していない他の一般質問も視聴して見たいと思う。

お知らせ

市議会 おでかけ

新型コロナが5類に引き下げられてから3ヶ月が経ちますが、まだまだ感染は身近で発生しております。特に室内での人込みでは、感染予防を継続することが必要ではないでしょうか。マスクもまだ手放さないください。「おでかけ市議会」では、感染対策にご協力をお願いいたします。

- (1)対象…市内在住又は在勤の方々に構成する10人以上のグループとさせていただきます。
- (2)開催場所…ご希望の場所で開催いたします。
- (3)テーマ選定…意見交換するテーマを決めていただきます(例:やりたいこと、人口減少、まちづくり、財政、農林業振興、観光、企業誘致、病院、教育、クマ・イノシシ対策、環境、福祉関係、議会など)
- (4)参加議員…選定されたテーマにより所管する委員会の議員がおでかけして参加します。

●お申込み先…仙北市議会事務局 TEL0187-43-0334

総務部 総務課 主事 黒澤 麻衣

今回の議会傍聴を通じて、改めて市政について討論を行う場が重要だと感じた。

インターネット上で議会中継を視聴したことはあったが、議場での傍聴は今回が初めてだった。実際の議場は、映像では感じ取れない緊張感と、この場所で市政が動いていることを肌で実感した。また、一般質問一つひとつが私たちの生活に密着しており、観光・商工・少子高齢化対策などとても興味深い内容だった。

ぜひ、少しでも市政に興味がある方には議場に直接足を運んでもらいたい。市長や市議会議員の方々の熱意を直接議場で感じてほしい。そのためには、気軽に傍聴できる機会を作ることも必要だと感じた。

私も一人の市職員として貢献できるよう日々の仕事に取り組んでいきたいと感じた。

市民福祉部 社会福祉課 主事 能美 太一

一般質問の中で一番興味深かった内容が、玉川温泉水を活用した水素生成についてである。仙北市職員になる前から興味を持っていて、ウクライナ問題の影響でアルミニウム不足であると知って残念だった。将来、水素エネルギーは主要なエネルギーになっていくと思うので、仙北市の一つの大きな産業として、水素エネルギーの実用化に期待したい。

初めての議会傍聴で、まずは議会の雰囲気を知ることができたのが、大きな経験であった。今回の議会傍聴で現状の仙北市の課題について知ることができた。今後、仙北市職員としての自覚を持ち、仙北市の課題についてどのように取り組むかを考えていき、幸福度No.1を目指して業務に努めていきたい。

市民福祉部 長寿支援課 主事 中邑 愛

議会は紙ベースだと思っていたが、タブレットで資料を読んでいて驚いた。コロナが落ち着き始めたので、議会や仙北市政に興味を持ってもらうためにも一般も傍聴者の方にもっと気軽にきていただきたいと感じた。

一般質問の答弁を聞いて、当市は財政難だという印象をもっているがそれを工夫してどうにか資金を捻出したりコスト削減をしたりと私たちも深く考える機会となった。また、市役所の仕事は多岐にわたりまだまだ知らない分野があるため勉強不足だと思う。議会を通して様々な事業について質問や意見を出し合い深堀していくことで、現状や進展など方向性が見えることを実感した。そして田口市長の、まちを必死に変えていきたいという熱意にも触れることができ、私もより市民の声に耳を傾け市民のためにどう行動すべきなのか広い視野と使命感を常に持ちたい。

市民との意見交換会開催 7月5日(水) 18時～ (田沢湖・西木・角館の3箇所)

令和5年度1回目の市民の方々との意見交換会を田沢湖地区、西木地区、角館地区の3箇所で開催いたしました。6月30日に第3回定例会が閉会して間もなくの開催となり、各常任委員会では市民の皆さまへの議会報告などあわせて準備しておりました。



市民との意見交換会は、仙北市議会基本条例の趣旨に基づき、市民に開かれた議会であるために、市政の諸課題についての説明責任を果たすとともに、市民との意見交換を行うことで議会の運営改善と政策立案に生かすことを目的としております。

今回の皆さまからいただいたご意見、ご要望につきましては、市当局からの回答をいただき次第、できる限り早めに皆さまにフィードバックさせていただきますので、今しばらくお待ち願います。

次回から、もっとたくさんの市民の皆さまに参加していただける企画を検討いたします。

田沢湖会場〔総合開発センター〕	西木会場〔西木開発センター〕	角館会場〔角館庁舎〕
<ul style="list-style-type: none"> ・総務文教常任委員会メンバー ・班長：門脇 晃幸 ・市民の参加 2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業建設常任委員会メンバー ・班長：武藤 義彦 ・市民の参加 5名 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民福祉常任委員会メンバー ・班長：高橋 輝彦 ・市民の参加 17名